

平成 29 年度 宝木中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

- (1) 基本目標 「人間尊重の教育を基盤に、知・徳・体の調和のとれた発達を目指し、心身共に健康で知性と創造性に富み、心情豊かでたくましく社会に生きる人間の育成」
- (2) 具体目標（具体的な生徒像）
- ① 気力・体力のあるたくましい生徒（たくましく）
 - ② 自ら学びよく考える生徒（さとく）
 - ③ 心豊かで礼儀正しい生徒（あかるく）
 - ④ がまん強く進んで働く生徒（いきいきと）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

学校は ○子どもたちにとって居心地のよい楽しい場所であること
○教職員の「生きがい」や「やりがい」を感じる場所であること
○保護者、地域の皆様から信頼される場所であること
このように、信頼と心の触れ合いを基盤とした、豊かな人間関係に支えられた**ぬくもりと夢のある学校**づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 学習指導要領や宇都宮市学校教育スタンダード等の趣旨をふまえるとともに、生徒の実態や学校・地域の特色を生かした特色ある教育課程の編成・実施に努める。
- (2) 生徒の実態に応じた指導方法や指導体制の工夫・改善を図り、生徒一人ひとりの確かな学力の育成に努める。
- (3) 生徒理解を基盤として、発達の段階に応じた生徒指導の充実を図り、望ましい人間関係や豊かな人間性・社会性の育成に努める。
- (4) 道徳の時間の充実を図り、生徒一人ひとりの道徳的実践力を高めるとともに、読書活動や体験活動を一層推進し、生徒の内面に根ざした道徳性の育成に努める。
- (5) 家庭との連携を強化し、健康管理や体力づくり、食に関する指導の充実を図るなど、生徒が将来にわたって健康に生活していく基盤づくりに努める。
- (6) 生徒の発達の段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育、進路指導を推進し、社会的・職業的な自立に向け必要となる能力・態度の育成に努める。
- (7) 保護者や関係機関等との連携を図り、生徒の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導や長期的な視点に立った特別支援教育の充実を努める。
- (8) 児童生徒の9年間の成長を見通した小中一貫教育を推進し、学校園で共通理解を図りながら、宝木地域学校園が目指す心豊かな生徒の育成に努める。
- (9) よき伝統や地域の特色、教職員の創意工夫を生かした特色ある学校づくりの推進に努める。
- (10) 積極的な情報提供など家庭・地域社会との連携を一層深めるとともに、魅力ある学校づくり地域協議会を効果的に活用し生徒の地域行事への協力やボランティア活動を通して、地域とともにある学校づくりの推進に努める。

【宝木地域学校園教育ビジョン】

「いきいき宝木」心豊かな宝木っ子の育成をめざします
他を思いやる心や規範意識を育み、基本的生活習慣や主体的に学ぶ態度を身に付けさせる指導の充実

4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【学 校 運 営】○生徒一人一人の自己肯定感や自己有用感を育てる活動の推進
生徒の学力向上と教員の授業力向上の推進
- 【学 習 指 導】○学ぶ意欲を高め、基礎的・基本的学力の確実な定着を図る指導の充実
○自主学習ノート等の活用による家庭学習の習慣化
- 【児 童 生 徒 指 導】○よりよい人間関係を育む学級集団づくり推進（学業指導の推進）
○OSC・関係機関との連携を図った教育相談体制の充実（不登校を生まない集団づくり）
- 【健康（体力・保健・食・安全）】 基本的生活習慣の定着と部活動の活性化を図る指導の充実
危険予測、危機回避能力育成を図る安全教育・防災教育の充実と交通安全指導の充実

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 → 88.6%	① 学校行事では、生徒の自主的・主体的活動を積極的に取り入れ指導にあたる。 ② 事務の簡略化・OA化などスリム化を進め、教員が生徒と向き合う時間の確保に努める。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答は、88.6%で達成した。 【次年度の方針】 ・体育祭の「よさこいソーラン」や合唱コンクールの実施に向け心を一つにして主体的に練習する態度を育てる。 ・会議の能率化や学校事務のスリム化を図り、教員が生徒と向き合う時間の確保に努める。
	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上 → 95.8%	① 教職員は、「認める、ほめる、励ます」指導に力を入れ、生徒への声かけを大切にすると共に、保護者への丁寧な対応を心がける。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答は 95.8%で達成した。 【次年度の方針】 ・生徒が自らの自尊感情を高めることができるよう、「認める、ほめる、励ます」など、一人一人への声掛け等を充実させる。
	A 3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 → 85.6%	① 「学びや生活のルール・マナー」を設定し、チャイム着席や5分前行動など、基本的生活習慣の定着を粘り強く指導し、全校体制で授業を支える学習環境づくりに努める。 ② ルールの見直しを図るとともに、生徒が主体的に判断する場面を意図的に設ける。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答は 85.6%で達成した。 【次年度の方針】 ・地域学校園で、「挨拶と返事の励行」「素直な感謝や謝罪の表現」「相手の気持ちを考えた行動の実践」の定着について小中連携して指導し、生徒が主体的に「ルールやマナー」を守ることができるよう支援する。 ・ネットトラブルの防止教室を各学年で実施し、生徒へのきめ細かい指導の充実を図る。
	A 4 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85以上 → 88.9%	① 生徒の考えを引き出し、深められるような発問を工夫し、言語活動の充実に取り組んでいる。 ② 基礎的・基本的事項の確認のための小テストやワークのチェックを実施し、学力の底上げに努める。	A	【達成状況】 生徒の肯定回答は 88.9%で達成した。 【次年度の方針】 ・授業で本時のねらいの提示と、振り返りの確実な実施に努める。 ・小テストやワークのチェックを実施することで基礎的・基本的事項の確認を行い、学力の向上を図る。
	A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上 → 94.5%	① 道徳・学級活動等の授業を工夫し、いじめ根絶にむけた授業内容を厳選し、定期的実施する。 ② 「いじめの調査」などの教育相談機能により、早期発見・早期解決を図る。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答は 94.5%で達成した。 【次年度の方針】 ・道徳科・学級活動の授業を中心に、いじめ根絶に向けた授業を年4回実施する。 ・「学校いじめ防止基本方針」の改訂について研修を行い、教職員の意識を高める。 ・「いじめの調査」結果を共有・活用し、早期発見・早期解決を図る。

A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上→94.1%	① 学校行事の目的の明確化とPDCAサイクルを活用し、昨年度の反省を生かした内容の工夫改善を図る。	【達成状況】 教職員の肯定的回答は 94.1%で達成した。 【次年度の方針】 ・学校行事等の PDCA サイクルを活用し、本年度の反省をもとに、より充実した教育課程実施に生かす。
A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。 【数値指標】 保護者の肯定的回答 85%以上→95.2%	① 「学校だより」をはじめとする各種だよりを定期的に発行する。 ② ホームページの更新に務めるとともに便利な情報を発信する。	【達成状況】 保護者の肯定的回答は 95.2%で達成した。 【次年度の方針】 ・「学校だより」「学年だより」をはじめとする各種だよりを定期的に発行する。 ・ホームページをやメール配信を充実する。
A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。 【数値指標】 保護者の肯定的回答 85%以上→90.8%	① 学校行事を通して、地域協議会やPTA・保護者との連携交流を図る。 ② 地域社会との連携を深め、地域におけるボランティア活動や行事への参加・協力を推進する。	【達成状況】 保護者の肯定的回答は 90.8%で達成した。 【次年度の方針】 ・理科における博物館との連携授業、私立高校連携、茶道教室、などを行う。 ・地域行事での生徒ボランティアの募集や指導を継続し、地域社会に貢献できる生徒の育成を推進する。
A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 保護者の肯定的回答 90%以上→93.1%	① 用具を充実させながら、清掃活動の活性化を図る。 ② 教室・廊下等の掲示物を精選し、きれいで見やすい掲示コーナーづくりに努める。	【達成状況】 保護者の肯定的回答は、93.1%で達成した。 【次年度の方針】 ・清掃時の生徒の分担表を作成し各清掃場所に掲示し、意識化を図る。 ・教室等・廊下等に必要な掲示物をタイムリーに掲示するとともに、破損した場合は速やかに修復する。 ・春と冬に花壇の整備を行い、年間を通して花のある環境を整える。
A 10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上→79.4%	① 小中乗り入れ授業を積極的に行う。 ② 地域学校園各部会の取り組みを小中共通理解の元に行う。	【達成状況】 生徒の肯定回答は 79.4%で、目標値よりも10.6ポイント低い結果となった。 【次年度の方針】 ・数学や国語、書写を中心に、小学校の内容を復習として導入で扱う乗り入れ授業を実施し、小中の連携を図る。 ・地域学校園各部会の取組を、各学校のホームページに掲載し、その成果を広く伝える。
B 1 学校は、生徒の安全確保に努めている。 【数値指標】 生徒・保護者の肯定的回答 85%以上 →生徒 97.8%、保護者 96.3%	① 全職員による立哨指導を行い、危険場所を公表し、安全な登下校に努める。 ② 学校行事の際の安全確保について保護者や地域協議会の協力体制を推進する。	【達成状況】 肯定的回答は生徒 97.8%、保護者 96.3%と9割を超えており、良好な状況である。 【次年度の方針】 ・避難訓練の機会を活かし、生徒の総合的な危機管理能力を高める。 ・Jアラートや緊急地震速報などへの対応をマニュアル化し、共有する。

教育活動の状況	生活	A11 生徒は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上 →92.5%	① 生徒会及び小中合同のあいさつ運動を実施し、明るく活気ある学校づくりに努める。 ② 共通したあいさつの指導を学校園共通で行う。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答は92.5%で達成した。 【次年度の方針】 ・小中合同で行う「地域学校園あいさつ運動」を推進し、明るく活気のある学校づくりに努める。 ・全授業における先言後礼の指導や、「茶道教室」における礼儀作法の学習を通して、進んであいさつできる心を育てる。
		A12 生徒は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 →89.5%	① すべての授業において、望ましい言葉づかいの習慣化を図る。 ② 相手や場に応じた適切な言葉づかいの指導と共に、他人の話を聴く態度の育成を図る。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答は89.5%で達成した。 【次年度の方針】 ・すべての授業で、望ましい言葉遣いを指導し、習慣化を図る。 ・生徒の言葉遣いについて、つかわせたい言葉やつかわせたくない言葉を教室等に掲示し、全校をあげて取り組む。
	健康・体力	A13 生徒は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上 →85.6%	① 部活動や保健体育の授業において、健康増進・体力向上の基本知識を身につけさせ、さらに集団行動や学ぶ態度の習得を図る。	B	【達成状況】 生徒の肯定回答は85.6%を達成し、前年度(80.7%)より4.9ポイント、目標値よりも0.6ポイント高い。 【次年度の方針】 ・宇都宮元気っ子チャレンジを活用して運動への意識向上を図る。 ・外遊び奨励ポスター作成を継続するとともに各学級に新しいバレーボールを支給する。
		A14 生徒は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 →85.6%	① 給食指導を徹底し、食への意欲・関心を高めていく。 ② 保護者に「食育だより」を配付し、家庭への啓発活動を行う	A	【達成状況】 生徒の肯定回答は85.6%で達成した。 【次年度の方針】 ・生徒会給食委員会の給食コンクールの残量調査結果を活用し、生徒が栄養のバランスを考えて食べることへの関心を喚起する。 ・「食育だより」に給食の残量を掲載し、家庭への啓発活動を行う。
	学習	A15 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 →83.9%	① 各教科でグループ学習を積極的に取り入れ、話し合い活動を充実させるなど、学習活動の工夫を図る。 ② 習熟度指導やTTなど、個に応じた指導の充実に努める。	A	【達成状況】 生徒の肯定回答は83.9%で、目標値よりも2.1ポイント低い結果となった。 【次年度の方針】 ・自主学習ノートを使った家庭学習を習慣づける。 ・グループ活動や話し合い活動などアクティブラーニングを積極的に取り入れ、生徒が進んで学習に取り組めるような学習活動の工夫をする。 ・特に英語科と数学科では習熟度指導やTT等、個に応じた指導の充実に努める。
		A16 生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 →79.2%	① 「わかる授業」の実践を心がけ、学ぶ意欲や態度を育てる。 ② 年度当初にノート作りの約束事を決め、効果的且つ活用しやすいノートづくりを推進する。	A	【達成状況】 生徒の肯定回答は79.2%で、目標値よりも5.8ポイント低い結果となった。 【次年度の方針】 ・学びのルール・マナーを徹底させるとともに、先言後礼を指導し、落ち着いた態度で授業の始めと終わりのあいさつを行わせる。 ・本時のねらいの提示と生徒による学びの振り返りを毎時間確実に行う。 ・年度当初にノートづくりの約束ごとを決め、落ち着いて板書がとれるように継続して指導し、真面目に授業に取り組ませる。

本校の特色・課題等	B2 生徒は、家庭学習に意欲的に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上 → 80.9%	① 家庭学習の仕方等を示し、自主学習ノートの指導をするなど、自学できる態度を養う。 ② 学級懇談や個人懇談等において、保護者への啓発を推進する	【達成状況】 生徒の肯定回答は 80.9%を達成し、前年度(76.4%)よりも 4.5 ポイント、目標値よりも 0.9 ポイント向上した。 【次年度の方針】 ・家庭学習の手引き等を年度当初のオリエンテーションで学級担任から説明し、今後も継続して自主学習ノートの指導を行う。 ・キャリア教育を推進するとともに、全校集会、学級懇談や個人懇談等で生徒、保護者への家庭学習への啓発をより一層推進する。
-----------	--	---	---

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

市全体と本校を比較してみると、生徒の肯定的回答は多くの質問において市全体を上回っており、生徒が明るく、落ち着いた生活を送っていることが分かる。教職員は、学習指導や部活動指導にもより力を入れられる状況になっている。

本校では、学力向上の取り組みに力を入れ、教員が互いの授業を公開・見学し、研究協議を行ったりして指導力の向上に取り組んできた。また、家庭学習の充実が学力向上には欠かせないことから、生徒には「自主学習ノート」による学習に取り組ませ、教員がそれをチェックすることで家庭学習の習慣化を図ってきた。家庭の協力もあり、B2の「家庭学習に意欲的に取り組んでいる」は昨年度と比べ、教員、保護者、生徒とも大きく向上してきている。(昨年度：教職員 34.4、保護者 60.7 生徒 76.4、今年度：教職員 47.1、保護者 64.7、生徒 80.9)

さらに今年度は、道德教育の重要性に鑑み、全教職員で研修を行った。授業を元に研究協議をし、今後のより良い方法を模索している。

今後は、小学校との連携を強化して9年間を見越したキャリア教育に力を入れ、生徒が将来の夢や希望をもち、それに向かって積極的に学習や運動に取り組んで行ける生徒を育てたい。

6 学校関係者評価

- ・「いじめの指導」に関して、市と比較しても肯定的割合が高く、学校として良く取り組んでいるのが分かる。学校の取り組みを広く周知することで、保護者にも理解してもらうようにすると保護者の肯定的割合がさらに高くなると思われる。
- ・「家庭学習への取り組み」に関して、生徒と教職員、保護者の間に認識の違いはあるものの、学校も自主学習ノートのチェックに力を入れており、三者の肯定的割合が高くなってきている。地域学校園でも取り組んでいる事項であり、今後もしっかり取り組んでほしい。
- ・「小中一貫」については、学校園としては良く取り組んでいると思う。取り組んでいる内容をお互いに周知し、広く共通理解を図るようにすると教職員の肯定的割合が高くなると思われる。
- ・キャリア教育は、生徒が夢や希望をもち、それを叶えるためには今何を努力すべきなのかを理解する上でも重要である。今後も学校園として力を入れていきたい項目である。
- ・学校、家庭、地域がこれからも連携して取り組み、地域の学校としてさらに良くなってほしい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

学校、家庭、地域が様々な場面で連携し、協力していくことが将来を担う生徒の健全な発達を促す上でとても重要なことである。今後もさらに、広報活動を充実させることで、情報発信を促進させ、今まで以上の連携を強めていきたいと考えている。

本校が取り組んでいる学力向上には家庭学習の充実が欠かせないものであり、そのための自主学習ノートの取り組みは学校園としても取り組んでおり、今後も力を入れていく事項である。

今後は地域学校園で、キャリア教育にさらに力を入れ、生徒に夢や希望を持たせ学習や運動に積極的に取り組む生徒を育てたい